

未踏修了生のいま

Activities of Graduates

Vol.1

IPAの人材育成事業「未踏事業」修了生の活躍状況をご紹介します

File:1

落合 陽一さん

メディアアーティスト、筑波大学 准教授
ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
代表取締役CEO



©蛸川実花



総合監修、アートディレクション
『計算機と自然、計算機の自然（日本科学未来館常設展）』

アート界から政府審議会まで幅広く活躍

未踏では、「電気が見える」デバイスとソフトウェアの開発で採択され、スーパークリエイターに認定された落合陽一さん。

現在は、メディアアーティストとして活躍するほか、筑波大学准教授や研究室の主宰を務め、ベンチャー企業 CEO や一般社団法人代表理事、政府・省庁の審議会・委員会メンバーなど、産官学のすべての場に活躍の場を広げています。

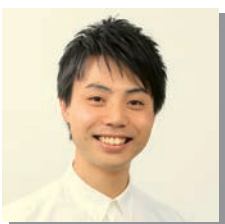
著書も多数あり、累計発行部数は 100 万部を突破しています。

採択年度：2009年度上期未踏コース 担当PM：首藤 一幸
採択テーマ：「電気が見える」デバイスとソフトウェアの開発

File:2

本多 達也さん

富士通株式会社 グローバルソリューション部門
ビジネスマネジメント本部
Antenna プロジェクトリーダー



ヘアピン型聴覚障がい者向けデバイス「Antenna」

振動と光で音を届けるデバイスを開発

本多達也さんは、大学時代にろう者に会ったことがきっかけとなってヘアピン型聴覚障がい者向けデバイス「Antenna」の開発を始めました。同デバイスの開発をテーマとして未踏に採択され、スーパークリエイターに認定されたのちも引き続き開発を継続。

富士通に入社後は同社のプロジェクトとしてさらに開発が進められ、2019年に製品化が実現されました。本多さんの「聴覚障がい者に音を感じてもらいたい」という夢は、着実に実現しつつあります。

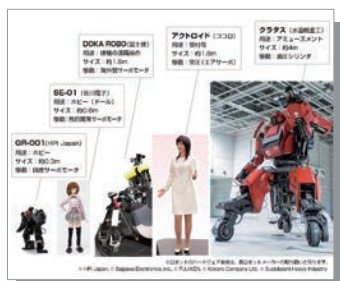
採択年度：2013年度 担当PM：後藤 真孝
採択テーマ：髪の毛で音を感じる新しいユーザインタフェースの開発

File:3

吉崎 航さん

アスラテック株式会社

取締役/チーフロボットクリエイター



「V-Sido」が採用されているロボットの例

自ら開発した制御 OS でロボット普及に貢献

大小や形態を問わず、多種多様なロボットを制御できるOS「V-Sido」。実際に開発が進んだのは、未踏での採択がきっかけでした。

その後、水道橋重工での巨大ロボット「クラタス」など数多くのロボット制御や「ロボット革命イニシアティブ協議会」参与、一般社団法人ガンダムGLOBAL CHALLENGEのシステムディレクターなども務め、ロボット業界の第一人者となっています。

採択年度：2009年度 担当PM：藤井 彰人
採択テーマ：人型ロボットの演技指導ソフト

File:4

玉城 絵美さん

H2L, Inc., 創業者

早稲田大学 創造理工学研究科 准教授



触感型インターフェース「UnlimitedHand」

触感や動作を伝達する技術で世界から注目

触感や身体感覚をコンピュータによって伝達するBodySharingの研究兼起業家。玉城さんが開発したコンピュータから人に手の動作を伝達する「PossessedHand」は、米タイム誌「世界の発明50」にも選出され、世界的にも注目を集めています。

2012年には未踏修了生の岩崎健一郎さんとH2L,Inc.を創業し、世界初触感型コントローラ「UnlimitedHand」、手の動きや重量感覚を伝達するデバイス「FirstVR」などを発表。ほかに経済産業省で委員も務めるなど各所で活躍中です。

採択年度：2008年度未踏本体上期 担当PM：田中 二郎
採択テーマ：直感的な操作のための3次元ジェスチャ認識ライブラリの開発



「未踏事業」では、ITの活用によるイノベーションを創出することのできる
独創的なアイデアと技術を有する突出したIT人材を、優れた能力と実績
を持つプロジェクトマネージャー指導のもとに発掘・育成します。



未踏事業ポータルページ

https://www.ipa.go.jp/jinzai/mitou/portal_index.html



未踏Facebook

<https://www.facebook.com/ipa.mitou>

IPA 独立行政法人
情報処理推進機構

IT人材育成センター イノベーション人材部 Eメール: innov-mitounews@ipa.go.jp